

信州栄村秋山郷 ドロノ木平ボルダー

令和2年10月30日 RCT/K

ここは、長野県栄村秋山郷の切明に向かう国道405号の道路脇にあって、車からでもすぐ確認できるアプローチほぼ0分のボルダーである。しかし、アクセスが不便な上に遠くから時間をかけていくほどのボルダーでもなく、また、日本有数の豪雪地帯にあって、半年間は利用できないことから、今までトライしようというボルダラーはいなかったようだ。

ここ数年は春から秋まで信州の実家で過ごすことが多くなったため、今年も切明の露天掘り温泉に浸かるために何回か出かけ、ついでにこのボルダーの掃除とトライを行った。



ボルダー数は、現在トライ済みなのは3個で、岩質は安山岩系統で概ねしっかりしており、課題数もそこそこあって1日程度遊ぶなら十分である。

アクセスは、木島平村からカヤノ平を越えることもできるが、毎年5月末まで通行止めなので、新潟県の津南から入るのが無難である。栄村小赤沢を過ぎ、道なりに国道を南下、栃川を渡ると、まもなく和山集落への分岐がある。和山や切明へはここを下るが、ボルダーへはそのまま国道を進む。栃川高原キャンプ場を過ぎ暫く行くと、ドロノ木平登山口(佐武流山登山口・大岩歩道入口)の標識がある。この少し手前に湧き水があるので、水を補給すると良い。国道をさらに南下すれば、まもなく道路横にボルダーがあるので迷うことはない。

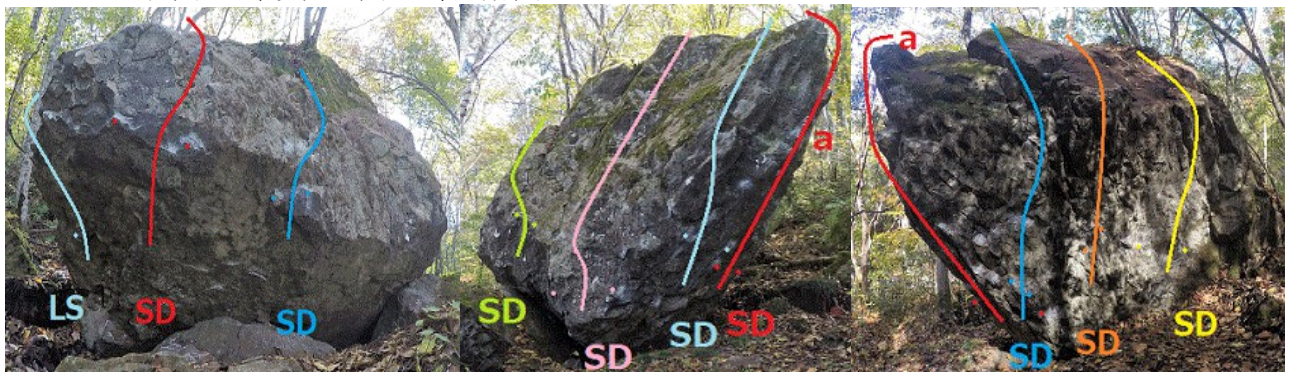
アプローチは、ボルダー近くの道路の脇に停めることができ、ほぼ0分であるが、ボルダーの少し手前や少し先に何台か止められるスペースがあるので、そちらの方が準備などするのに好都合である。

なお、この周辺には未トライのボルダーがたくさんあるが、開拓については、シーズンに限られる上に、苔落としが大変なので、遠隔地に住むボルダラーにはお勧めはしない。

《課題紹介》

●A岩(奥の約4mのハイボール)

トボ左:北面 中央:西面 右:南面



南面は易しいが、西面と北面はハングしており、ムーヴ的に面白い課題が多い。西面は高さがあり、下地の不安定なところもあるので、クラッシュパッドを複数使用したほうが良い。

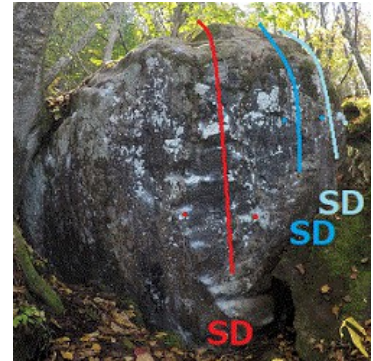
課題については、北面の赤ライン、西面のピンクラインと赤ラインなどがムーヴがあって面白い。

見方を変えればまだ新課題は設定できそうであり、北面の水色ラインの SD スタートなどは未解決である。

●B 岩 (約 2m)

特に面白い課題はないが、左のフェイスの SD 課題ができれば楽しめそうである。

青ラインは、両手アンダーでスタートする。



●C 岩 (約 3.5m 程の道路横の岩)

意外と大きな岩で、課題数もあるが、水平ホルドが多く、見た目より易しい。

下地は一部岩が出ていたり、整地が不十分なところがあるので、クラッシュパッドは必要である。

一番左に前傾カンテ (オレンジライン) があり、左のフェイスにホルドがあるが、ちょっと遠く、リーチがないときつい。

